

様式第 7 号（第11条関係）

確認検査表

検査項目	チェックのポイント	欄
1 流入管渠 ^{きよ} 及び放流管渠 ^{きよ} の勾配	汚物又は汚水の停滞がないか。	
2 放流先の状況	放流口と放流水路の水位差が適切に保たれ、かつ、逆流のおそれはないか。	
3 誤接合等の有無	生活排水が全て接続されているか。	
	雨水、工場廃水等が流入していないか。	
4 升の位置及び種類	起点、屈曲点、合流点及び一定間隔ごとに適切な升が設置されているか。	
5 流入管渠 ^{きよ} 、放流管渠 ^{きよ} 及び空気配管の変形又は破損のおそれ	管の露出等により変形又は破損のおそれはないか。	
6 かさ上げの状況	バルブの操作などの維持管理を容易に行うことができるか。	
7 浄化槽本体の上部及びその周辺の状況	保守点検又は清掃を行いにくい場所に設置されていないか。	
	保守点検又は清掃の支障となるものが置かれていないか。	
	コンクリートスラブが打たれているか。	
8 漏水の有無	漏水が生じていないか。	
9 浄化槽本体の水平の状況	水平が保たれているか。	
10 接触材等の変形、破損及び固定の状況	嫌気ろ床槽のろ材又は接触ばっ気槽の接触材に変形や破損はないか。	
	しっかり固定されているか。	
11 ばっ気装置、逆流装置並びに汚泥移送装置の変形、破損、固定及び稼働の状況	各装置に変形や破損はないか。	
	しっかり固定されているか。	
	空気の出方又は水流に片寄りはないか。	

12 消毒設備の変形、破損及び固定の状況	消毒設備に変形や破損はないか。	
	しっかり固定されているか。	
	薬剤筒は、傾いていないか。	
13 ポンプ設備（流入ポンプ又は放流ポンプ）の設置及び稼働状況	ポンプ升に変形や破損はないか。	
	ポンプ升に漏水のおそれはないか。	
	ポンプが2台以上設置されているか。	
	設計どおりの能力のポンプが設置されているか。	
	ポンプの固定が十分行われているか。	
	ポンプの取り外しが可能か。	
	ポンプの位置及又は管がレベルスイッチの稼働を妨げるおそれはないか。	
14 ブロアーの設置及び稼働状況	防振対策がなされているか。	
	固定が十分行われているか。	
	漏電のおそれはないか。	
15 単独処理浄化槽又はくみ取り便槽の撤去の状況	既設の単独処理浄化槽又はくみ取り便槽が撤去されているか。	
16 水回り及び配管等の状況	水回り配管等が配置配管図のとおりに設置されているか。	
上記のとおり確認し、補助事業が完了したことを証します。なお、補助事業完了日より後、工事の不備により、当該浄化槽が所定の性能等を発揮することが困難と認められるときは、施工業者の責任により改善することを誓約します。 年 月 日 担当浄化槽設備士氏名 (浄化槽設備士免状の交付番号) 補助事業者氏名		